

松の湯倶楽部

第9号

日ごろより、松の湯をお引き立ていただき、心より感謝申し上げます。松の湯倶楽部第九号をお届けします。

今年例年になく雪が多く、桜の開花も遅れ、さくらんぼの収穫時期も遅くなるのではと危惧されましたが、その心配もなくなったようです。実も順調に結実し、例年並みの六月二十日過ぎには、おいしい佐藤錦が期待できそうです。さくらんぼ狩りにお越しの皆さん、どうぞお楽しみください。



八角堂から見る満開のサツキ

松の湯の庭園は、今サツキが満開です。青々としたマツの芽も伸び、夏の気配が感じられる季節を迎えました。万物が成長するこの時期こそ、松の湯の温泉の恩恵を実感できるとき。静か

おすすめの場所

このたびのおすすめはここ。JR山形駅前の「やまがたレトロ館・旧山寺ホテル」です。山寺ホテルは平成19年に閉館されましたが、今年の4月「結城泰作やまがたレトロ館原画展示館」として、新たな出発をしています。

大正・昭和の香りを残す建物と、レトロ館原画を鑑賞できます。特に二階

で心安らぐひとときを松の湯でのんびり過ごしてみたいかがでしょうか。

舞鶴山に親水空間

天童市のシンボルでもある舞鶴山一帯が、現在大規模な公園整備を進めています。中でも愛宕沼周辺が、新たに親水公園として生まれ変わり、沼の周りには散策路が設けられ、桜の森が造成される予定です。天童温泉組合でも開湯百周年事業の一つとして、この場所に桜の植樹と記念碑の建立を今年度中に計画しています。(碑文は裏面に掲載)

また一つ、天童の魅力がアップします。来年の四月のオープンを目指して、着々と工事が進められています。



愛宕沼の改修工事

大広間からの宝珠山の眺めは格別です。レトロ館の原画は、今は亡き結城泰作氏が県内の歴史的建造物をペン画として描き続けたもので、山形の文化を物語る建物の貴重な記録です。

主眼とする山形歴史たても研究会では、歴史ある建物の持つあたたかさや文化的な価値を、より多くの方に伝えていきたいと考えています。入館料は無料です。松の湯の古い建物の原画も展示されていますので、ご覧ください。

今年もスタート日曜朝市

ふれあいウォーキングも同時開催



賑う日曜朝市「朝どり活き活き湯けむり横丁」

六月からスタートしている日曜朝市「朝どり活き活き湯けむり横丁」は、当館のガスト隣の駐車場で開催中です。十月いっぱい、毎週日曜の午前六時から八時〇〇まで。とりたて新鮮な農産物の販売とともに、舞鶴山ふれあいウォーキングを実施しています。六三〇からみんなでラジオ体操をして、舞鶴山まで約三十分程度のウォーキングを楽しめます。地元の人々も県外のお客様も、一緒に散策します。参加者には冷たいスポーツドリンクを無料提供。



おかげさまで 100周年

天童温泉

東北観光博の一環として、やまがた花回廊キャンペーンが行われています。桜、ツツジが終わっても、あやめ、バラ、ゆり、紅花などの花々が、その美しさを競うかのように咲いていき、七月中旬までいろいろな花を楽しむことができます。ぜひこの機会に山形へお出かけください。

桜のあとも花咲き競う

でかけよう満開のやまがたへ

東沢バラ公園



- 花カレンダー(花言葉)
- バラ (愛・愛情・美)
 - 六月上旬～七月上旬
 - 村山市 東沢バラ公園
 - 南陽市 双松バラ園
- あやめ (良き便り・吉報)
 - 六月中旬～七月上旬
 - 長井市 あやめ公園

●ゆり (純粋・無垢・愉快)

六月下旬～七月上旬

飯豊町 どんでん平ゆり園

●紅花

七月上旬～中旬

天童市 貴津紅花畑

山形市 高瀬地区

白鷹町 各地区

河北町 紅花資料館

そのほか、山形市の野草園なども、山野草の好きな方には人気があります。

で開催中です。期間中、バラの育て方教室など様々な催し物があります。当館から車で北へ三十分の場所にあります。

また、県花でもある紅花は、各地で紅花まつりが開催され、花摘みや紅花染めの体験もできます。天童の紅花畑は、当館から車で数分。山寺へ向かう農道沿いに隣接していますので、近くて便利です。ぜひお出かけください。(裏面に関連記事を掲載)

祭りは、見ごたえ十分です。

東北の新しい旅へ!



国の国土交通省はじめ、東北地方の自治体を中心となって、東北をまるごと楽しむという企画「東北観光博」を開催中です。期間は来年の3月まで。全部で二十八の個性あふれるゾーンが設定されています。山形県には四つのゾーンがあり、天童は「上山・天童・山形蔵王ゾーン」に入っています。東北全部が博覧会場。詳しくは「東北観光博公式サイト」をご覧ください。

温泉神社の由来

普段慣れ親しんでいる地元の神社でも、「祀っている神様は？」と、改めて問われてみると正確に答えるのはなかなか難しいものです。天童温泉も、昨年開湯百周年を迎えました。これを機会に、「温泉神社の由来」について昔の記録をもとに調べてみることにしました。

その由来を記した看板を、今月中旬に神社の前に設置します。要約すると次のような内容になります。



やまがたレトロ館 旧山寺ホテル